

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI川崎戸手		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2024年 1月 1日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日3クール制となっており、小集団での活動を行っています。	1クラスあたり1~6人クラスで、個々のレベルに合わせたクラス編成を行っています。年々少や年少の方は先ずは一人や二人クラスから始めて、様子に応じて5~6人クラスに変更し、徐々に集団に慣れていけるようにしています。	保護者を交えたイベントを実施し、より多くの人数に慣れる機会を設けています。
2	自主性や思考力の育成の為に、お子様だけで話し合う機会を設けています。	お子様同士で相談をして、順番や色を決めたりする機会を設けています。大人に頼らずに考えることや相手に譲ったり譲られる経験を早くから積むことで、自立や円滑なコミュニケーションが行えることが期待されます。	
3	学校体育の内容を取り入れた療育を行っています。	就学に向けて学校体育で行う運動に事前に触れることで、「知っている」という安心感が持てるようにしています。	職員研修により、専門的な知識を身につけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	川崎戸手教室に男性職員がいないことです。	跳び箱や鉄棒の補助の際、小学生の場合は女性職員では支えきれず危険な場合があります。	本社が各教室の男女のバランスを考えた採用を行っていくことが必要となります。
2	個室が少ないため、クールダウンのスペースの確保が難しいことです。	マンションの一室なので間取りを自由に換えられず、運動スペースを広く確保する為に、着替えをする部屋と事務室以外の個室が取れていないという現状です。	着替えやクールダウンが必要な場合は、パーティションを用いたり着替えスペースを利用しています。
3	トイレの大きさが未就学用ではないことです。	マンションの一室を借りている為、元が大人用の大きさとなっています。	職員が補助に入ったり、1人で座る子ども用に踏み台を置くようにします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI川崎戸手

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 46

回収数 35

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	1			・体が大きくなるとせまく感じることもあるのではないかと。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2			・一人の子につき一人以上ついて下さって十分に感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	2			・水道が高いので一人で手洗いが難しいのでもう少し高い踏み台などがあるとよい。 ・創作時間中、囲いを設けて下さるので注意散漫になりづらい。	・新たなステップを購入予定。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35					
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	1			・子供が安心できるようにプリンセスカードを持たせてくれてありがたかった。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	2		2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34			1	・まだ入ったばかりなので今のところ判断できない。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	9	15	・今後に期待したい。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	3	14	・初めのうちは一人で参加するのが難しかったので慣れるまで一緒に参加はOK이었다。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35				・毎回アプローチの工夫について教えてただけで分かりやすい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32			3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	5	15		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33		1	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	2			・フィードバックを15分取っているが、少ない時間で終わってしまう日もあすので、もう少しお話を聞きたい。	・人員に余裕のある際はしっかりと対応し、不足している分は面談にて対応可能であることをお伝えする。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	3	1	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	1	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3	1	11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33			2	・安全の確保のご配慮を感じる。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	2		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34	1			・先生方に心を開いてきたようです。 ・TAKUMIで過ごしている姿を見ると安心していると感じる。 ・非常に安心感がある。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	2			・友達の少ない土曜日は渋ることが多いが先生の前向きな声掛けのおかげで前向きに取り組んでいる。 ・毎週楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1			・子供の成長に合わせた支援を提案していただけで。 ・子供のベースに合わせて支援していただけている。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI川崎戸手	公表日	令和 7年 2月 21日
------	------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	スペースに合わせた活動が内容に変更して対応。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	3クール制のため、1クール当たりの人数に対して職員が多く配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	天井が高く、開放的な雰囲気でのびのびと活動ができる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	クールダウンができる更衣室兼静養室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	2か月おきに運動目標とリードの照合を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	意向を受けて、療育内容の見直し等をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	通年で投函できる目安箱を設置している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ミーティングやこの職員への聞き取りを行い、必要な療育内容を共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		地域支援、連携を改善していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	毎日リードを替えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	保護者を通して情報共有を行っている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	フィードバック時に一緒に取り組める内容を伝え共有している。(イベント等)面談を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	自宅で行える運動や支援方法の助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	イベント等や見学で交流してる。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月インスタグラムを更新している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	行事とかは行ってないが周知活動等は行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI川崎戸手		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日3クール制となっており、小集団での活動を行っています。	1クラスあたり4～6人クラスで、個々のレベルに合わせたクラス編成を行っています。低学年の方は先ずは4人程度のクラスから始めて、様子に応じて5～6人クラスに変更し、徐々に集団に慣れていけるようにしています。	保護者を交えたイベントを実施し、より多くの人数に慣れる機会を設けています。
2	自主性や思考力の育成の為に、お子様だけで話し合う機会を設けています。	お子様同士で相談をして、翌月の好きな運動や遊び、ルールを決めたりする機会を設けています。大人に頼らずに考えることや相手に譲ったり譲られる経験を早くから積むことで、自立や円滑なコミュニケーションが行えることが期待されます。	
3	学校体育の内容を取り入れた療育を行っています。	学校体育で行う運動に触れる中で、学校では苦手意識のある内容でも、TAKUMIでなら「できた」という自信が持てるように内容を工夫しています。	職員研修により、専門的な知識を身につけていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	川崎戸手教室に男性職員がいないことです。	跳び箱や鉄棒の補助の際、小学生の場合は女性職員では支えきれず危険な場合があります。	本社が各教室の男女のバランスを考えた採用を行っていくことが必要となります。
2	個室が少ないため、クールダウンのスペースの確保が難しいことです。	マンションの一室なので間取りを自由に換えられず、運動スペースを広く確保する為に、着替えをする部屋と事務室以外の個室が取れていないという現状です。	着替えやクールダウンが必要な場合は、パーティションを用いたり着替えスペースを利用しています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI川崎戸手
------	------------

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 41

回収数 30

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3			・洗面台や事務室前のくぼみや柱にぶつかり そうだなと思うときはある。 ・次のクラスと創作時間が重なる際、お互い 盛り上がるとうるさくて聞こえない時もある のでは。	・指導員の配置を意識し、コーナガードや パーテーションを活用してけが防止に努め る。 ・引き続き声の大きさについて声掛けをして いく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	5			・基本的には手厚い体制を感じる。つきつき りになる子がいた場合、少し先生が少ないと 感じることがある。	・つきっきりの状態があっても、全体を見る 共通意識をもつ。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	27	1		2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	28	1		1		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	29	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	29	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2			・フィードバックで聞いても実感できないと きがある。	・集団という状況が多いため個々に対応しか ねるが、できる限り支援計画に沿った内容 をお伝えできるようにしていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	29	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	5	3	15	7		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	26	3	1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	26	1		3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	17	6	4	3	・ペアレントトレーニングの機会、学びを増 やしていただけると日常の子どもとのやり取 りに反映できると思うのでお願いしたい。	・取り入れていく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	27	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	5		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	3		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	6	13	7	・親子参加のイベントなどもあり子ども一 緒に楽しめることができ、いい機会である。 ・見学の機会があることで、他の保護者と交 流できる。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	4		2	・フィードバックの時間にアドバイスなどを下さるのでとても助かる。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	2	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	4	2	9	・避難訓練が行われているのかわかりません。	・毎回事前に周知をしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	5	2	12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1		5	・その状況になっていないので不明。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	1		・概ね楽しく通っているが、時々行きたくないと言っていることはある。 ・様々な子供参加型で決めるプログラムを設けていただき子供が楽しみに通っている。 ・毎週楽しく通ってる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	7	1		・子供が振替をしたいと思うような仕掛けがあると有難い。 ・子供の特性について十分理解していただき必要とする内容の療育を受けられている。 ・子供に合わせた支援をしていただき有難い。	・振替利用をしなくなるようなプログラムを考えていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI川崎戸手				公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	2				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	保護者からの意見を取り入れ、すぐに改善している。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1				
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	リードを週ごとにかぶらないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	PCにその日の記録を取り、いつでも見返せるよう工夫している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	運動と着座の時間それぞれに自己発信案を進めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	場合によっては行っているときもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	全員ではないが数人は確認を取っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	ここで情報共有を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	フィードバック時に行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	イベント等や見学で交流している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人ファイル保管を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	職員間で話し合い、実際に子供たちとも訓練をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			